ODA
那覇身協だより

128号

発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
編集 一般社団法人 那覇市身体障害者福祉協会

〒902-0061 那覇市古島 2−14−4
那覇市障がい者福祉センター内
電 話(098)885-0420(FAX 共通)
頒価20円は会費に含みます

新春のごあいさつ

会　長
高嶺　豊

新年明けましておめでとうございます。

旧年は、動乱の多い年でした。ロシア軍によるウクライナへの攻撃は、終息することなくまだ続いています。また、パレスチナのガザ地区では、ハマスがイスラエルを攻撃したことにより、イスラエル軍が、ハマスの壊滅を目的に攻撃を強めて、民間人の被害が増大しています。このように、人類の愚かな行為が、まだ新年も続くような勢いです。

新年の干支は、甲辰（きのえ・たつ）です。この年は、「理想に向かって、辛抱強く、慎重に、さまざまな抵抗や妨害と闘いながら歩みを進めていく」と言われているそうです。

新年は、コロナ感染が少しずつ終息する中、我々の活動も少しずつノーマルになりつつあります。私たちの相談事業、就労支援事業や、生活介護事業も、利用者が戻ってきており、賑やかが戻ってきつつあります。

このような中、私たちは、コロナを終息させ、ノーマルな生活に移行し、今年は、ウクライナへの軍事侵攻が収束し、ガザ地区への攻撃が停戦を迎え、物価高が収まり経済が安定することを辛抱強く待つ必要があります。新年は、平和が戻り、生活が安定することを祈願します。当団体は、着実に活動を進めて参りますので、会員の皆様のご協力、ご理解を賜りたいと思います。

那覇市長
知念　覚

はいさい　ぐすーよー　ちゅーうがなびら。
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、本市の福祉行政の推進につきまして、高嶺　豊会長をはじめとする那覇市身体障害者福祉協会の皆様並び関係者の方々のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が５類感染症へ移行され、当協会で中止していた事業も実施されるようになり、以前のような活気に戻りつつあると感じております。

障がいのある方々の社会参加や自立に向けて様々な事業を実施し、活躍の場を提供している皆様のご活動は、本市の福祉行政の発展を支えていくものと考えております。

本市では、目指すまちの姿として「互いの幸せを地域と福祉で支え合い　誰もが輝くまちＮＡＨＡ」を掲げております。その実現に向けて、障がいのある方の社会参加や自立に向けてより一層の支援に努めてまいりますので、今後とも、地域福祉の向上に、皆様方のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げて、新年のあいさつといたします。

沖縄県身体障害者
福祉協会会長
山城　充正

穏やかな新年を迎えようとしていたなか、能登半島地震と羽田空港事故により尊い命が奪われたことに哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

那覇市身体障害者福祉協会をはじめ関係者の皆様には、日頃より沖縄県身体障害者福祉協会の事業推進に、多大なるご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

貴会におかれましては、身体障がい者の社会参加、自立生活の促進及び活動増進と相互の親睦を図り、一般社会への理解を深めるため地域における福祉の増進に取り組まれていることに対し、心より敬意を表します。

さて、国においては、障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会の実現に向け、令和６年４月１日から障害のある人への合理的配慮の提供が全ての事業所で義務化されることとなりました。

このような中、当協会においても、障害者の社会参加を推進するため、市町村障害者団体・関係機関等と連携のもと、諸施策の充実、組織強化・育成を図り、さらにはSDGsの目標についても認識しながら共生社会の実現に向けた活動に取り組んでまいります。

結びに、那覇市身体障害者福祉協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

ホームページアドレス　http://nahashin.jp/

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

★　那覇市障がい者福祉センター　★

車椅子＆アイマスク体験に参加

那覇市理解促進・普及啓発事業として、車椅子・アイマスク体験に参加しました。

●アイマスク体験は、事前に研修を受けた職員が２人１組の体験ペアに付き、場所は屋内と屋外の両方を体験してもらいました。
体験者にはアイマスクをする方と介助する方を交互に体験してもらい、声のかけ方や誘導の仕方、一緒に歩く際に気をつけることなど、特に段差に注意をして頂きながらの体験となりました。体験をしていく中で、視覚障害者の方の困り感に気づき、不安を安心感に変える支援が誰にでもできることに気づかれた体験になったと思います。

●車いす体験では車椅子を操作するうえでの注意点を説明し、ホールで練習した後は、実際に建物から出て介助と車椅子に乗る体験を行いました。車椅子体験を通して、自分の視界と車いすでの目線の違い、今まで体験したことがない身の回りのバリア。たとえば、小さな段差でも越えることが難しかったり、揺れたり…介助する方も大変な労力が必要だということ。アイマスク体験では見えない不安の中誘導されながら歩行する不安。声掛けの大切さ等、たくさんの体験をして頂きました。今回の体験を通して…まちなかで体の不自由な人が困っていたら救いの手をさしのべられる勇気になれば。体の不自由な人に限らず、困っている人にも救いの手をさしのべられる人が増えたら嬉しいです。

●場　所　　：那覇市牧志駅前　星空公民館及びその周辺地域（さいおんスクエア）
●参加事業所：・那覇市障がい福祉課　相談グループ　・社会福祉法人　若竹福祉会 Enjoy
　　・一般社団法人　那覇市身体障害者福祉協会

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

障害者就労支援センター

さわやか

あけましておめでとうございます

年末の御用納めにレクをしました

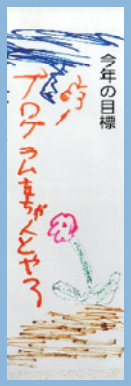
就労移行支援さわやかでは、毎年年末にレクを行います。今年も大盛り上がり！カードゲームやカラオケ、卓球、ダンスの披露やビンゴ大会まで！みんなの笑顔で年納めができました。

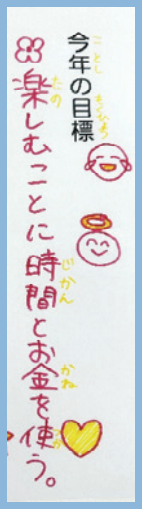
カラオケは毎回人気！

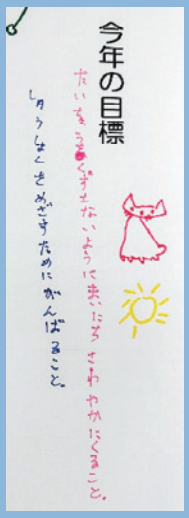
ジェスチャーゲームでタケコプターのモノマネ♪

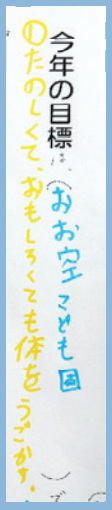
★今年の目標★

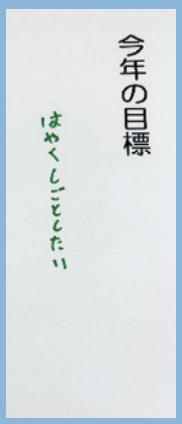
年明けにはみんなで「自分にとっての今年の目標」を書いて壁に貼りだしました。すごく素敵な目標がそろいました！











利用者募集中！ あなたの「はたらきたい！」「はたらき続けたい！」をお手伝いします。ぜひ一度さわやかにお電話もしくは来所見学にいらして下さい！

相談・体験は無料です▶▶▶ ☎833-7755　FAX833-7785

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

障がい者相談支援センター　すこやか

那覇市では、令和5年12月1日より、市が管理する公共施設の使用料等の減免を受ける際に、デジタル障害者手帳アプリ「ミライロ ID」の利用が可能となりました。

デジタル障害者手帳「ミライロ ID」について

株式会社ミライロが提供するスマートフォン向けのデジタル障害者手帳アプリです。

障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の情報をアプリ内に登録することで、手帳の登録情報がスマートフォン画面に表示できるようになり、アプリの画面を公共施設等で提示することで障害者割引等を受けることができるようになります。

那覇市が管理する公共施設で「ミライロ ID」が利用できる施設は那覇市役所ホームページにてご確認ください。

※アプリのインストールや障害者手帳情報の登録方法などの詳細は、「ミライロ ID 公式ホームページ（外部サイトリンク）（外部サイト）」からご確認ください。

お気軽に相談してください

訪問による相談　電話による相談　来所による相談

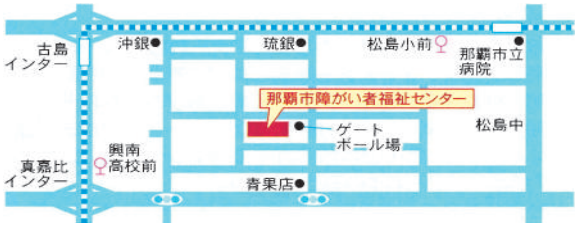
◆受付時間／月～金（午前９時～午後５時）

※来所相談の方は電話でご予約下さい。

◆受付場所／（一社）那覇市身体障害者福祉協会
障がい者相談支援センターすこやか

◆問い合わせ／**８８４－３８７２**（FAX 兼用）

◆相談員／知花とも子、安里旬江、石盛かおり、當間尊子、渕鎌捺希



※相談は無料で個人の秘密は固く守ります。

障害別に相談が受けられます。

視覚障害　仲川福俊　連絡先８３２-３４５３

肢体障害　大城一晋　連絡先 090-9782-7162

心臓障害　宮城愛子　連絡先８８５-９４４４

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

4年振りに開催した、楽しかった運動会！

去る、11月 26 日（日）開南小学校グラウンドにて「第 41回那覇市障がい者運動会」が４年振りに開催されました。

今年もコロナ禍の影響もあり、半日開催となりましたが、那覇地区、真和志地区、首里地区、小禄地区の４地区に分かれ、那覇市の障がい者及び関係者約300名余の方々が参加されました。

当日は天気も良く、パン食い競争から始まり、混合リレー、風船割り、フライングディスク、車椅子スラローム、音感競争、800ｍリレー、ボール運び競争、玉入れまでの９種目を全て無事に行う事ができました。

参加された皆様は、勝ち負け以上に和気あいあいと笑顔がこぼれており、地区の垣根を超えた応援をしつつ、秋空の下１人１人が楽しいひとときを過ごしていただくことができました。

運動会を通して交流の輪を拡げ、また日頃の運動不足の改善にも役立つことができたのではないでしょうか。

今年は真和志地区の優勝で幕を閉じました。来年からは通常どおりの開催となりますので、皆様奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

♪音感競争♪

♪ラジオ体操♪

ボール運び競争

フライングディスク

☆玉入れ☆

☆表彰式☆

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

4年振りの

楽しいピクニック参加してみませんか！

貴方も

先着50名様限定

美味しいイチゴ狩りと桜見物、美味しいお弁当に、ファーマーズでの買物等を予定しています。参加申込みをお待ちしております。

と　き▶令和6年2月17日（土）午前9時10分集合 9時20分出発
ところ▶那覇市障がい者福祉センター（集合場所）
参加費▶2,000 円（イチゴ食べ放題・お弁当）
申込み▶連絡先 /TEL 098-885-9444/FAX 098-885-0420
那覇市身体障害者福祉協会 事務局

編集後記

コロナもインフルエンザも落ち着き、今年は明るい年になるだろうと期待していた。

しかし、元旦のその日に、石川県能登地方で震度７以上の地震が発生し甚大な被害がでてしまった。現地は大変困難な状況にあるという。一日も早い復旧と復興を願う。

総務広報委員長　知念 博

会費納入のお願い

会員の皆さま、明けましておめでとうございます。令和６年が会員の皆さまにとって素晴らしい１年となりますよう祈念申し上げます。さて、令和５年度も多くの会員のご理解とご協力に支えられ事業を推進しております。令和５年度の会費が未だの方は別添の振込み用紙をご利用になり、琉銀・沖銀の本支店にて納入にご協力をお願いします。

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。